

随筆

チェコ駐在記

野村典史

1. はじめに

私は2016年4月から2021年4月迄の5年間KYB Manufacturing Czech s.r.o (以下KMCZ) に赴任していました。赴任前はSA関係の海外拠点へ品質支援業務を行っており、赴任準備を行っていた当時からアセアンの案件を担当していました。実は過去のKMCZへの出張は無くあまり情報のない中での赴任スタートでしたが、住めば都、色々な経験をして成長できた5年間でした。

駐在を振り返りそこでの生活の一部を紹介します。チェコ駐在の先人方々が名所、料理等々紹介していますが、まだまだ良い所、面白い話ありますのでお付き合いください。

2. チェコ共和国について

ご存じだと思いますがチェコは正式名チェコ共和国といい1993年以前は隣国スロバキアと一つの国でチェコスロバキアという国でした。私の子供の頃は、大相撲の千秋楽に在日大使が「ひょーしょーじょーあんたはえらい」と日本語で読み上げ、大きなボヘミアグラスを優勝者に渡していたのを記憶しています。そのボヘミアグラスは今もチェコの有名な特産品でその特徴は高い透明性と硬度があり、古くは教会のステンドグラスにも使われている。現在では花瓶やグラスなど幅広い用途で人気がある。

チェコの立地は西にドイツ、北にポーランド、南にオーストリア、南東にスロバキアに囲まれた海の無い国である。ちょうどヨーロッパの真ん中に位置していて緯度は北海道くらいなので冬はとても寒く、2月の中旬には氷点下10℃を下回る日が何日か続く。室内はセントラルヒーティングのため快適でしたので、冬場の週末は買い物以外ずっと家に籠っていました。逆に夏場は湿度も低く過ごし過ごしやすいため、窓を開けていればクーラー要らずで過ごせます。

そんな夏は、ビールを飲むには最高の季節で各レストランの前にはテーブル、椅子、パラソルが置か

れ皆好みのビール片手に家族、友人と話を楽しむ。ビールと言えば一人当たりの年間ビール消費量が毎年世界一である。国別ビール消費量(総量)は小さな国なので他国に敵いませんが一人当たりとなるとチェコ人の消費はダントツで1位である。早朝レストランやバルの前を通るとビールを詰めたタンクローリーが横付けされていて、給酒している光景に出くわすと、前夜に飲み干されたビールの補充量がすごい量だと分かり、改めてチェコ人のビール好きを認識出来る光景です。

また、チェコといえば古い街並みで世界文化遺産がいくつもあります。プラハだけでなく我々が住んでいたバルドビツェ近くにもクトナーホラという観光地がある。昔は銀の採掘で富をもたらした街で豪華な建造物が点在している。

有名なのが聖バルボラ教会やセドレツ納骨堂で聖バルボラ教会は13~15世紀にみられるゴシック建築様式の教会で教会内部には様々な像や絵画が飾られています。建物は中心に3つの屋根があり、その周りに先の尖った柱がいくつも立っている。

セドレツ納骨堂は約1万人の人骨を使って内装が装飾されていて中に入ると夏でも涼しく、少し埃っぽい感じがします。入り口には紋章があり、中に入るとシャンデリア、壁にはいくつもの装飾が全て人骨で組み立てられており、日本では考えられない人骨の使い方にびっくりします。

工場のあるバルドビツェは東ボヘミア地方でプラハから東に100kmくらいの場所にあり、有名なのはヴェルカパルドツカという障害競馬が毎年10月に行われる事、開催時にはヨーロッパ各地から多くの観光客が訪れ、ワイン片手に競馬を楽しんでいる。

駐在中の住まいはバルドビツェ市中心にあり市庁舎のある広場で食事をしたり、お城に行ったりしました。市庁舎も昔の建物を改装されたもので季節毎のイベント時には外装を飾られ、ライトアップされてきれいな建物で市民に親しまれた建物である。

その他にもチェコには色々な観光地はありますが、

日本からみえる方々の旅行ツアーはプラハからチェスキークルムロフを経てオーストリアへ行かれるのが定番である。



写真1 パルドビツェ市庁舎

3. KMCZ

2016年当時のKMCZは2015年に西側へ工場拡張(15千㎡から約2倍の35千㎡)、組立ライン等の追加があり2015年度からは増産開始をしていた時期であった。この頃からチェコは好景気で設備投資や個人消費も毎年増加していました。それに呼応するように失業率の低下、賃金の上昇が毎年進み、少しでも条件の良い職場に移るため退職する従業員の代わりを確保するのが駐在中の課題となった。

KMCZでは2016年8月に単筒ガスSAと標準SAを組立てられる手動ラインを導入、2017年12月には3本目となるST溶接、組立ライン導入と生産体制を着々と整えて工場拡張前の2014年370万本/年であった出荷高は増加して18年には570万本/年となる工場となっている。その後19年、20年はコロナ影響もあり出荷高が減りましたが、生産を年々伸ばしてきた。

現在のKMCZは工場西側にトラックドックがあり、完成品やチューブ等の入出庫を行っており、すぐ傍に完成品置場がある。西南にチューブやロッドの加工ライン、部品庫があり、拡張した部分は主に完成品置場と前加工の生産場所となっている。工場東側には内蔵部品のバルブ組立、標準SAの組立ライン、ストラット型SAの組立ラインが並んでおり、完成品は、また西側の完成品置場へ移動する生産の流れとなっている。

勤務は組立ラインが3グループ、前加工ラインは4グループ勤務で、従業員数700人程の会社となっています。日頃の生産では厳しい顔をしている従業

員も夏のオープンハウスや冬のクリスマスパーティーでは違う顔を見せみんな楽しんでもらいました。



写真2 KMCZオープンハウスの様子

4. チェコ人のお楽しみ

チェコの人たちは体を動かす事が大好き。週末には家族で山へ行ったり、自電車を乗ったり、インラインスケートをしたりしている。我々も週末にはゴルフをしましたが、ゴルフ場でよく見た光景はプレーをしている人は一人。奥さんと子供、犬はただ一緒に歩くといったものでした。家族と自然の中にいるのが好きな国民性だと感心しました。

スポーツ大好きなチェコ人ですが日本でも有名なのはテニスではないでしょうか。特に女子テニスは世界ランキングに何人かいます。クレイチコバ、プレスコバは知っている人も多いのではないかと思います。チェコでも毎日活躍をニュースで放映していました。少し前の事です。冬のオリンピックでスキーとスノーボードで金メダルを取った人がいましたが、彼女もチェコ出身で女性のスポーツ界での活躍はめざましいものがあります。



写真3 クネチスカゴルフ場

5. アイスホッケー

チェコの人気スポーツはアイスホッケーでプロリーグも盛んである。パルドビツェにもプロチームがあり試合の開催日になるとユニホームを着た人々が大勢アリーナに向かいます。勝っても負けても帰り路は大騒ぎ。外の歓声でホッケー開催日が分かるほど。何度か観戦に行きましたがパックを奪い合うところや選手同士がぶつかり合うところ、たまの喧嘩はすごい迫力です。不幸にも毎回得点シーンは見られず、ランプと音で得点が入ったのを確認してから喜ぶにわかファンでした。

チェコの人にとってホッケーは国技のような感覚で子供の頃からスケート場でプレーをしていますし、夏場もアイスホッケーと同じようなスティックを使ったグラウンドアイスホッケーのような競技を楽しんでいる。2018年の平昌五輪では準決勝でロシアと試合であった。最終的にチェコは負けてしまいましたが、チェコ人スタッフは試合経過を常にネット等で確認、互いに情報共有、仕事どころではなかったです。

チェコ人に日本から来たと言うと、たまに日本のどこから？と聞かれる事があります。長野オリンピックではチェコのホッケー代表が金メダルを取ったそうで、日本＝長野の記憶が残っています。ホッケー大国チェコもそれまでは銀メダルが最高で、またロシア相手に負ける事が多かったので、長野では決勝でロシアに勝って金メダルだったため喜びもひとしおだったようです。チェコ人にとっての重大事件が日本の長野でおきた訳で、長野オリンピックの話を出せば、すぐ仲良くなれると思います。



写真4 アイスホッケーの試合

6. チェコの食べ物

チェコの食べ物は？と聞かれますが会社の昼食によく出ていたのがシュニッツェルというカツレツで、鶏肉や豚肉など挟んで揚げている。味は日本のものとはほとんど変わらない。駐在員の人気はトンカツソースをつけてもらい、白米と一緒に食べるのが楽しみでした。チェコ近隣のオーストリア、ドイツなども同じ料理があり、シュニッツェルにジャガイモを添えて出されるのが定番である。

グラーシュというハンガリー起源の牛肉シチューも昼食の定番で、チェコのレストランに行けば、必ずメニューにある国民食である。日本のビーフシチューに比べ少し塩気がある味付けで、蒸しパンを添えて出されることが多い。個人的にはパンの器にスープ風に入っているのがお勧めです。

好き嫌いがあるかもしれませんが、次に紹介したいのがタルタル（タートル）ステーキで、我々日本人の発音が悪いのでレストランでの注文時苦戦しますが、牛肉のユッケで香辛料とニンニクなどで味付けされています。食べ方は良く焼いたパンに生ニンニクをスリおろしその上に適量載せていただきます。チェコ人はニンニクの匂いはお構いなして男女ともおいしそうに口に頬張ります。食べ過ぎると次の日のお腹の保証ができません。

飲み物にはコフラ（Kofola）という炭酸飲料があり名前の通りチェコ版コーラである。歴史は古くチェコスロバキア時代にコーラを真似して作ったと言われ、微炭酸でレモンの香りがほんのりする飲み物です。最初の内は気の抜けたレモン入りコーラと思っていましたが、癖になる味でビールと並び国民的な飲み物である。



写真5 タルタルステーキ

7. チェコ人の名前事情

チェコ人の苗字について教えてもらった事があり、日本人の苗字と似ていますので紹介する。いくつかの苗字の起因は自然等から付けられたものようでコペツキー (Kopecky) は丘, 山, ノボトニー (Novotony) は新しいという意味で、日本でいう山本さん, 新井さんみたいなものだなあと感じました。氏名も日本と同じで苗字名前の順という事も教えてもらい、ちょっと親近感の湧いた話題でした。

言い忘れましたがチェコでは男性の苗字, 女性の苗字の語尾が少し違います。男性は語尾がkyとかyで女性はaで終わります。上記のコペツキさんも奥さんはコペツカ (Kopecka), ノボトニーさんも女性はノボトナ (Novotona) になります。女性の苗字は男性の語尾にovaが付属されるのが多い。

KMCZの中で男性に多かった名前がヤンさん (Jan), チェコ語では「Ja」を「や」と読みます。昔の偉人たちにもヤンさんは多いので人気のある名前なのだと思いますが愛称が変わっている。愛称はホンザ (Honza) という違う読みになる。駐在当初は意味が分からず誰に声をかけているのか周りを見渡していましたが、他にもアンナ (Anna) がアニチカ (Anicka), エバ (Eva) がエヴィチカ (Evicka) というのもあり、愛称って短くするのではないの? と思ったものでした。

他にも名前に関する話としてチェコだけではないかもしれませんが、カレンダーに名前の日があり誕生日の様にお祝いします。1年に2回誕生日があるようで、はじめの頃は先月も誕生日だったのでは? と疑問に思ったものでした。

8. 欧州地区でのコロナ禍

日本ではダイヤモンドプリンス号での感染が大きく報道された数か月前、イタリアやスペインでコロナウイルスがエピデミックな広がりをみせました。チェコでは対岸の火事と最初は見ていたようですが対象国からの帰国者が次々と発症し2020年3月には隣国との国境閉鎖や航空便の運航停止が始まりました。外国人の入国禁止など未知のウイルスに対し欧州各国が対策を取っていきました。

KMCZでも子供の冬休みに合わせてイタリアやクロアチアへ旅行に行った従業員がおり自主隔離の指示を出し、マスク, 消毒液不足の懸念から事前に注文をしたり、出張者の出張期間を変更し、国際便の運航停止前に緊急帰国させたりしてコロナ対応をしました。

その後状況は悪化してロックダウン, 顧客の工場

停止が計画され、4月はKMNAでの生産がありませんでした。ロックダウン中は食料品店, ガソリンスタンド, 薬局以外は全て閉店。レストランがやっていない為、単身者にとっては食事の確保など苦勞が多く、他の規制では夜9時から翌日の6時迄外出禁止などもあり、店舗の照明は落とされ人通りもなくなって町が閑散とした状態でした。

その後、新規感染者数の推移をみながら規制は段階的に緩和されていき、規制解除と感染拡大, また規制といった状態を繰り返していきました。その間も海外からの観光等入国は禁止され続けていた為、観光業や飲食業の打撃は非常に大きい。

規制緩和時にプラハに所用があり訪れたことがありましたが、いつもなら観光客でいっぱいの街なのにその時は有名なカレル橋にも人はおらず、川向こうの道路にも人がいませんでした。風景はきれいでしたが、いつもと違う街に不思議な感じがした。

新規感染者が増えていた時期は会社内でも感染者が出たり、濃厚接触者として出勤ができなかったりして生産の人員を確保するのに大変な時期がありました。今も一進一退だと思いますが、早くコロナウイルスが終息する事を願う。



写真6 プラハ レトナー公園から

9. 終わりに

ちょうど5年の任期を終え日本へ帰国しましたが各国で駐在されている方々のご苦勞察します。

駐在中は管理や拠点長など日本で経験してきたこと以外での業務をさせてもらい、会社の運営をいろいろ学べた駐在期間であった。また、異文化の中での経験は今まで当たり前だと思ってきたことに対する見方を変える事が出来る良い機会であった。特に前回駐在したアメリカ, 今回のチェコと2か国も経験させていただき、その国々での人, 文化, 経済を日本と比べ自分で考えることが出来、このような

機会をいただき感謝します。

今後海外に駐在される方々は、業務だけでなく海外の生活の中で異文化を吸収していただきたい。

末筆ですが駐在中にご支援戴いた方々に感謝いたします。微力ながら今後もKMCZの発展に協力させていただきたいと思っています。

著 者



野村 典史

1992年入社，品質本部品質管理部
専任部長，SA品質保証部門，ア
メリカ駐在，商品企画部，チェコ
駐在を経て現職。